



# 教員のための博物館体験 昭和館を授業で活用！

令和元年（2019）

7月25日（木）・7月31日（水）・8月22日（木）

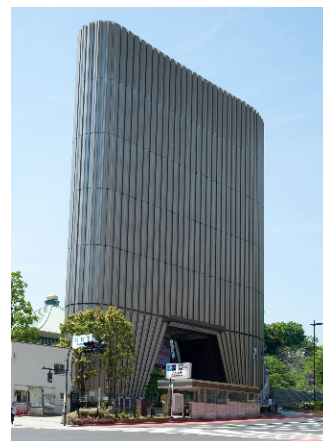
## 昭和館って？

昭和館は、戦没者遺族をはじめとする人々の戦中・戦後（昭和10年頃から30年頃まで）の暮らしや労苦を紹介する、国立の博物館です。

平成11年（1999）3月末に開館し、これまでに500万人以上の方々にご来館いただいています。特に、

★小学校3・4年生 社会科単元「昔の道具とくらし」

★小学校6年生 社会科単元「長く続いた戦争と人々のくらし」の学習に適しており、総合学習や平和学習でもご利用いただけます。



昭和館では、学校の先生や教育委員会の方などを対象に、授業や校外学習などでの利用方法を紹介する「教員のための博物館体験」を開催します。

常設展示室の解説ツアーや、収蔵庫の見学、学校向けの貸出キットの紹介など、当館の展示内容や学芸員の仕事を紹介する、半日コースの夏期研修プログラムです。

この機会に、昭和館のことを知って、活用してみませんか？

会場	昭和館（東京都千代田区九段南1-6-1、九段下駅4番出口徒歩すぐ）
時間	各日とも午後2時00分～4時30分頃
対象	小・中・高等学校の先生方、学校教育関係者
定員	各日とも10名（各日とも同内容です）
費用	無料
申込	7月2日（火）以降、電話にて受付（先着順）
申込先	昭和館学芸部 林・鈴木
	電話 03-3222-2577（月曜を除く午前10時～午後5時30分）

## 当日のスケジュール（予定）

午後1時45分	受付開始（1階受付集合）
2時00分	開会
2時10分	常設展示室 解説ツアー（約50分）
3時00分	特別企画展 解説ツアー（約30分）
3時30分	バックヤード（収蔵庫）ツアー（約20分）
3時50分	貸出キット 紹介と展示（約20分）
4時10分	質疑応答・アンケート記入など
4時30分	終了



学校向け貸出キットの展示体験もできます。



# 昭和館で何ができるの？

昭和館では、ご来館いただいて展示室を見学・体験したり、当館が所蔵する実物資料などを学校で展示したりして、戦中・戦後の人々の暮らしについて学ぶことができます。

## 常設展示室で学べる！体験できる！ (見学・体験)

常設展示室では、戦中・戦後における人々の暮らしについて、当時の人々が使っていた道具をはじめとした実物資料、当時の様子を収めた写真や映像などを紹介しています。

また、展示室内には、当時の暮らしを体験できるコーナーがあり、

- ・防空ごう体験
  - ・昔の電話で話してみよう！  
(ダイヤル式の黒電話をかけることができます)
  - ・井戸汲み体験 (井戸ポンプを動かせます)
  - ・米つき体験
  - ・着てみよう！ (昔の服を着ることができます)
- など、昔の人々の暮らしを実際に体験することができます。



展示室の様子



体験ひろばの様子 (井戸汲み体験)

## 実物資料を学校で展示できる！ (貸出キット)

昭和館では、常設展示室をコンパクトにパッケージ化した、貸出キットを準備しています。

戦中・戦後の人々の暮らしについての内容で、

- ・当時使われていた本物の実物資料
- ・当時の暮らしを文章や写真で紹介するパネル
- ・当時を生きた人々の体験談を収めたDVD

があります。

学校への貸出を行っておりますので (貸出無料、送料のみ借用者負担)、教室などで展示することができます。



貸出キットの例

くわしくは、昭和館のホームページへ！！

<https://www.showakan.go.jp/>